



745号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



7月4日(火) 第7回 検数労連23夏季一時金交渉 09:30~10:00
全ての地域から批准または一任を受け、23夏季一時金闘争妥結を表明。
支給日7月10日(月)を確認。

第7回一時金交渉

前回の交渉で『収拾に向け
た機関手続き』に入る旨を表明し、その後、7月3日(月)を期限として各地域闘争委員会に対して23夏季一時金闘争全般における意見を求めました。その結果、中央闘争委員会と各地域闘争委員会と見解の差がありながらも全ての地域から『批准』または『一任』を受け、7月4日(火)第7回検数労連23夏季一時金交渉で今夏季一時金闘争全般に対する妥結の態度表明を行いました。

《妥結の態度表明》

夏季一時金闘争の妥結の態度表明にあたり、7月3日17時までに各地域労連、支部から意見を集約し、全地域から批准、一任を受け、夏季一時金要求全般については、要求との関係では不満は残るものの現到達をもって『妥結』を表明する。

一時金回答額については、両協会ともに全国平均で昨夏比プラス回答。アルファ部分を加味した平均総額においてもプラス回答とした。詳細部分では、全日検の昨夏比乗率の上積み、日検の都市調整加算の満額回答は一定評価できる回答となった。しかし、日検の有額回答以降のアルファ部分への上積みに対し、

する全国からの意見は、乗率重視との関係で様々な角度からの厳しい意見が多く出された。回答算式については、全日検の家族手当、地域年齢手当、都市加算、日検の一律回答がアルファ部分に入っていること、両協会のアルファ回答(全日検の調整日検の業績)についても様々な諸事情はあるものの長年にわたる組合要求が受け入れられず課題を残した。諸要求の厚生年金の労使負担割合、Jロナフクチン接種に伴う特別休暇、国民的諸課題に対する態度表明についても理解が得られなく残念な結果となった。

各地域から両協会に対する主な意見まとめでは、諸物価高騰分を賄うことができない回答額、人員不足の中で奮闘している従業員への評価不足、組合要求である乗率重視の姿勢が見えない対応などが指摘された。同時に支部事業収益の増減をアルファ回答という形で従業員に経営責任を転嫁させる不透明な支部間格差回答に対する不満等を表明する意見が全地域から寄せられたが、夏季一時金要求全般については中央闘争委員会に『一任』された。

今後、中央闘争委員会として、全国の職場から寄せられた一時金に対する強い思いを検証し、冬季一時金につなげていくこととする。次の点を問題提起する。両協会が企業ポリシーとして位置付ける支部間格差回答は人員不足の中で職場を支えている従業員のモチベーションダウンや離職率の増加、ひいては企業主体の信頼の喪失につながる性格を持ち合わせている極めて深刻な問題となっていくことを真正面から受け止めるべきである。

23夏季一時金闘争おつかれさまでした。

【各地域からの主な意見】

《全日検》

(1) 評価点

- 調整加算の圧縮。
- 昨夏比プラス回答。
- 特別評価を提示させなかった。
- 支給日にこだわった闘争。

(2) 不満点

- 調整加算が他地区と比べて低額。
- 昨夏比で乗率・一律に対する上乗せが不十分。
- アルファ回答での調整加算。
- 家族・地域年齢・都市が算式に入っていない。
- 収益に貢献している準職員、契約雇員の回答が低額。
- 要求との関係では低額回答。
- 要求算式でない回答算式。
- 職員 AB の一律での格差回答。

《日検協会》

(1) 評価点

- 安定した一時金の確保。
- 有額回答指定日の回答提示。
- 昨夏比プラス回答。
- インフレ手当の一律への上乗せ。
- 都市加算の満額回答。
- 乗率2ヶ月の維持。
- 修正回答の引き出し。

(2) 不満点

- 要求との関係では未達。
- インフレ手当が低額。
- 要求していない業績加算による格差回答。
- 昨冬比乗率の引き下げ。
- 週休代休が取れない中での報われない回答。
- 一律増、乗率減は『乗率重視』に逆行。
- ワクチン接種休暇の協議が見えない。
- 夏季一時金で乗率2ヶ月を上回る回答提示がされない。